

大阪厚生年金病院治験審査委員会 会議の記録の概要

| | |
|------------------------|--|
| 開催日時 | 2013年6月18日(火) 14:30~15:30 |
| 開催場所 | 大阪厚生年金病院 第1会議室 |
| 出席委員名 | 田川 哲三、伊藤 敏文、寺川 晴彦、十川 恵子、高橋 弘枝、高橋 将徳、 魚澤 正克、内田 浩明、高原 未来 |
| 議題及び審議結果を含む主な議論の概要(治験) | <p>【審議事項】</p> <p>議題1 バイエル薬品株式会社の依頼による急性症候性肺塞栓症患者を対象とした BAY 59-7939 第Ⅲ相臨床試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題2 参天製薬株式会社の依頼による活動性非感染性後部ぶどう膜炎患者を対象とした DE-109 第Ⅲ相臨床試験</p> <p>当院で発生した重篤な有害事象について審議した。</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題3 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による HCV 持続感染患者を対象とした BI207127NA、BI201335NA (faldaprevir) 第Ⅲ相試験</p> <p>治験分担医師の変更、患者日誌の改訂について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題4 MSD 株式会社の依頼による C 型慢性肝炎患者を対象とした MK-7009 第Ⅲ相試験</p> <p>同意説明文書の改訂について審議した。</p> <p>前回の継続審査より1年が経過するため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題5 武田薬品工業株式会社の依頼による NSAID 長期投与患者を対象とした TAK-438 第Ⅲ相試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題6 武田薬品工業株式会社の依頼による NSAID 長期投与患者を対象とした TAK-438 第Ⅲ相長期継続投与試験</p> |

| | |
|--------------------------------------|--|
| | <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題7 日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅱ相無作為化試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題8 大日本住友製薬株式会社の依頼による糖尿病性末梢神経障害患者を対象とした AS-3201 第Ⅲ相臨床試験</p> <p>患者アンケートの配付について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>【報告事項】</p> <p>以下の内容について報告された。</p> <p>議題1 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による HCV 持続感染患者を対象とした BI207127NA、BI201335NA (faldaprevir) 第Ⅲ相試験</p> <p>治験協力者の変更について報告した。</p> <p>議題2 日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅱ相無作為化試験</p> <p>治験協力者の変更について報告した。</p> |
| <p>議題及び審議結果を含む主な議論の概要 (臨床研究)</p> | <p>【審議事項】</p> <p>議題1 HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたベバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究 (JBCRG-CO5)</p> <p>研究を実施することの適否について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題2 ピラルビシン術直後単回膀胱内注入療法の再発予防効果検討試験</p> <p>研究を実施することの適否について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> |
| <p>特記事項</p> | <p>なし</p> |
| <p>次回開催予定</p> | <p>2013年7月16日(火)午後2時30分</p> |